

令和4年3月31日

クレジットカード不正利用被害の集計結果について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長 山本 豊）は、クレジットカードの不正利用の実態を明らかにするため、クレジットカード発行会社を対象としたクレジットカード不正利用被害実態調査を継続的に実施しており、このたび、2021年第4四半期（10月～12月分）の集計値をとりまとめました。

これによると、今四半期の不正利用被害額は93.2億円で前期比（2021年第3四半期（4月～6月））では14.6%の増加、不正利用被害額に占める偽造被害額は0.3億円で50%の増加、番号盗用被害額は87.8億円で13.9%の増加、その他不正利用被害額は5.1億円で27.5%の増加となりました。

なお、不正利用被害額の前年同期比（2020年10月～12月）では28%の増加となりました。

また、2021年通年の不正利用被害額は330.1億円（前年比30.5%の増加）、不正利用被害額に占める偽造被害額は1.5億円（同81.3%の減少）、番号盗用被害額は311.7億円（同39.4%の増加）、その他不正利用被害額は16.9億円（同21.0%の減少）となりました。

※ 詳細は、「別紙 クレジットカード不正利用被害の発生状況」を参照してください。

◎お問い合わせは下記までお願いいたします。
一般社団法人日本クレジット協会 業務企画部
高橋、岡田
〒103-0016 中央区日本橋小網町14番1号
住生日本橋小網町ビル
TEL 03-5643-0011

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ